



5/26

令和4年度 「行政・団体提案型協働事業」が決定

7団体から提案された協働事業は、審査の結果、次の9事業が採択されました。

町と提案団体が具体的な役割分担を協議し、事業に取り組んでいきます。



▲審査会の様子

区分	団体名	事業の名称
行政提案型	府中地区まちづくり協議会	ゴミ減量 段ボールコンポストの普及事業
団体提案型	垂井地区まちづくり協議会	防災を考えるプロジェクト
	東地区まちづくり協議会	自治会単位の自主防災組織の活動活性化事業
	防災ネットワークOSA	住民主体の持続可能な防災・減災対策推進
	府中地区まちづくり協議会	府中地区における防災・減災推進事業
	ライフサポート垂井	子育て中の親子・高齢者等との交流整備事業
		垂井町における在宅生活支援体制整備事業
	特定非営利活動法人 泉京・垂井	「垂井版SDGs」推進事業(第三期)
社会福祉法人 白寿会	いぶき苑 フレイル予防教室	

5/28

“いざという時”のために



町女性防火クラブ(江崎千加会長)が、表佐地区まちづくりセンターで、ポリ袋を利用した災害食の講習会を開催しました。用意した鶏むね肉、塩、胡麻ドレッシングを袋に入れ、沸騰したお湯に15分間湯煎。いつもと同じ“蒸し鶏”の出来映えに、会長は、「食べることは大事なことです。災害時は、行政からの公助には限界があるため、自分や家族のため、常に“食の備え”をお願いします」と話されました。

5/25

交通事故の衝撃を体験



県のキッズセーフティ事業として、表佐こども園の園児29人が、保護者と一緒に“衝突体験車両”に乗車しました。園児たちは、時速5キロで衝突する衝撃の強さにびっくり。そのほか、衝突実験や交通安全の映像を視聴するなど、交通事故の怖さ、シートベルト着用の大切さを学びました。



6/2

町交通安全女性連絡協議会
杉村さん45年間貢献



▶右から高木さん、杉村さん

昭和52年の協議会設立当初から交通安全の推進に貢献された杉村千恵子(垂井)さんが、交通安全女性連絡協議会長を退任されました。杉村さんは「毎年、小学校に入学する児童のために製作している交通安全マスコットを身につけてくれる子どもたちを見ると、本当に嬉しかった。これからも、交通安全啓発のために続けてほしい」と話されました。後任の高木貴美子(表佐)さんは、「マスコットの赤い部分は反射材を使っている。交通事故防止のためにも、マスコットの製作を続けたい」と話されました。



▲交通安全啓発のマスコット

5/29

「町スポ・レク祭」を開催



▶スポーツチャンバラ競技の様子

第24回町スポーツ・レクリエーション祭に、約270人が参加しました。朝倉運動公園や不破高等学校など町内3会場でペタンクなど6種目の競技が行われ、参加者は家族や仲間とともに競技を楽しみました。



▲ペタンク競技の様子



小さな行動が 未来につながる
～今すぐできる 私のSDGs～



今月の取り組みさん

岐阜協立大学 経済学部
准教授
菊本 舞 さん

Profile

学位：博士（経済学）
担当科目：地域経済論・NPOコミュニティ論・ファシリテーション論・農業経済論

フェアトレードタウン推進委員会の設立当初から委員として、参加しています。

町のフェアトレードタウンに向けての取り組みは、全国的にも画期的なことで、地域コミュニティの観点からも、学生たちに学んで欲しい分野です。今後も垂井町のフェアトレードタウンに向けた取り組みに対して、協力していきたいと思えます。

“あなたが実践する、簡単なSDGsを教えてください。”

問 企画調整課 地域振興係 ☎22-1152

フェアトレードを知ろう、学ぼう。⑫

fairtrade

5月26日(木)、岐阜協立大学経済学部の2年生から4年生の53名の学生が、フェアトレードに関する基本知識、地域での取組状況など、フェアトレードタウン垂井推進委員会を講師に招き講義が行われました。受講した学生からは、「名前は聞いたことがあるが、詳しいことは知らない」といった意見が大半でしたが、フェアトレード運動が地域に与える可能性や意義について考える良い機会となりました。



◀講義の様子

問 企画調整課 地域振興係 ☎22-1152